

承認番号	研究課題名	研究責任者
2566-R2	糖尿病患者における腎臓の病態、腎症合併患者における血圧・糖質代謝特性、腎症を発症・進展のメカニズム、さらには生命予後に関する研究	第三内科学 内田 英子 教授
3116-R	岡造ペーシングによる心不全患者の治療効果と予後に関する観察研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3282	進行性がん患者の心理社会的側面に対するMSR介入の必要性について	東医療センター医療社会相談室 植谷英俊 室長
3283	ICPC術後に軽食道心エコーにより検出される下大静脈-心外導管部血流プロフィールの後方視的検討；理論値との比較及び許容しうる血流速の同定	麻酔科学 尾崎 真 教授
3284	小児における体外循環下心臓手術中の血中フィブリノゲン値・血小板数変動の後方視的検討	麻酔科学 尾崎 真 教授
3285	Left Atrial Dissection Related to Retrograde Cardioplegia Cannula Insertion (逆行性血流カニュラに関連した左房解離)	心臓血管外科 山崎健二 教授
3288	早産児における3 β -hydroxysteroid dehydrogenase/17 β -HSD isomerase 活性時間の予測に関する検討	母子総合医療センター新生児医学科 樋田 聡 教授
3293	出生前診断による胎児染色体異常の診断後の妊娠経過に関する研究	母子総合医療センター 松井英雄 教授
3295	医学生に対する人間関係教育の有効性に関する検討	道徳予備センター 齋藤加代子 教授
3296	岡造リウマチに併発する器質性肺炎における病態機序（サイトカインプロファイル）の解明	膠原病リウマチ症候群センター 山中 寿 教授
3297	炎症性腸疾患における疾患活動性の現状把握と予後予測因子の同定IC1627	膠原病リウマチ症候群センター 山中 寿 教授
3298	下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の有効性についての検討	消化器外科 山本雅一 教授
3301	精神科病棟におけるベンゾジアゼピン系薬剤の使用量最小化への取り組み後の調査	薬剤部 木村利美 薬剤部長
3302	T1b腎癌に対する腎部分切除術における腎実質無縫合法と縫合法の臨床成績の比較	泌尿器科学 田邊一成 教授
3303	治療不能性癌に対するFOLFIRINOX療法の観察研究（JASPAR 05）	八千代医療センター消化器外科 新井田達雄 教授
3309	消化器内視鏡に関連した胃がんの発生率の後ろ向き全国調査	消化器内視鏡科 中村真一 教授
3311	透析腎臓と慢性腎臓病の臨床・病理学的特徴と鑑別診断の生存率の比較検討	泌尿器科学 田邊一成 教授
3313	重症患者の下肢切断術の検討	麻酔科学 尾崎 真 教授
3314	岡造リウマチ患者における足関節関節機能障害評価方法と、保存的ならびに手術的治療における成績不良因子の後ろ向き研究	膠原病リウマチ症候群センター 桃原茂樹 教授
3317	C型肝炎ウイルス抗体陽性ドナーより抗体陰性レシピエントへの腎移植の予後の検討	泌尿器科学 田邊一成 教授
3318	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫再発時治療における合併症と生存率の関連の後方視研究	血液内科学 田中淳司 教授
3319	岡造リウマチにおける生物学的製剤効果不十分例におけるE-aetodの有効性と安全性	東医療センター整形外科 千葉純司 教授
3320	免疫下咽頭手術の周術期管理に関する検討	麻酔科学 尾崎 真 教授
3321	LDX13に関連する腎臓の疾患調査	腎臓小児科 服部元史 教授
3322	成人Fontan術後の上室性頻拍に対するカテーテルアブレーションの予後	循環器小児科 中西敏雄 教授
3324	リツキシマブ投与による腎移植後のサイトメガロウイルス感染における影響に関する検討	泌尿器科学 田邊一成 教授
3325	肝細胞癌に対する解剖学的および非解剖学的切除に関する比較検討	消化器外科 山本雅一 教授
3327	心サルコイドシス患者の臨床的特徴および転帰に関する後ろ向き研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3328	肝細胞癌症例における臨床病理学的進展因子予測のための腫瘍マーカーdoubling time測定の意味に関する検討	消化器外科 山本雅一 教授
3329	妊婦の健康増進・分娩等に関するデータベースの構築とその分析	衛生学公衆衛生学第二講座 山口直人 教授
3330	開胸手術後の遠隔創傷の発生率の後ろ向き検討	麻酔科学 尾崎 真 教授
3334	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	眼科 飯田知弘 教授
3336	クローン病におけるアグリマブ投与症例の中長期的予後と影響因子の検討	消化器内科学 立元敬子 教授
3337	千葉県内における糖尿病網膜症に関する調査	八千代医療センター糖尿病内分泌代謝内科 植木浩吉 教授
3341	当院におけるクロザピン治療経験	神経精神科 石野岡 純 教授
3342	鎖込み型除脈動器鎖込み患者の非動リスクと予後に関する観察研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3343	重症心不全患者における強心薬離脱因子の検討に関する観察研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3344	致死性不整脈に対する抗不整脈薬静注の効果と副作用に関する観察研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3346	心臓リハビリテーション介入によるHeart rate recovery の変化とその関連因子および予後との関連についての検討	循環器内科学 萩原誠久 教授
3347	中リスク群および高リスク群の子宮体がんに対する、術後補助療法の様式が予後に与える影響に関する多施設後方視的研究	東医療センター産婦人科 高木博一郎 教授
3348	我が国における再発性上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がんに対するsecondary debulking surgeryの現状と再発時の治療法および予後に関する調査研究	東医療センター産婦人科 高木博一郎 教授
3349	慢性心不全患者を対象としたベリンドプリルの長期治療成績に関する調査	循環器内科学 萩原誠久 教授
3352	心不全患者の心臓運動負荷試験から得られる因子と他の因子および予後との関係についての研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3353	心臓切開後症候群におけるアスピリンの有効性の検討	循環器小児科 中西敏雄 教授
3354	心不全におけるトルバグチンの利尿効果予測因子としてのBII/ALII比の有効性	循環器内科学 萩原誠久 教授
3357	除脈動デバイス鎖込み症例における循環器作動薬併用に関する観察研究	循環器内科学 萩原誠久 教授

承認番号	研究課題名	研究責任者
3358	慢性心不全患者の薬物治療・非薬物治療の実態調査：多施設共同研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3359	二相性けいれんと発覚性拡張性心不全を呈する急性冠症に対する多施設共同コホート研究	八千代医療センター小児科 寺井 勝 教授
3360	クリアランスギャップ（CL-Gap）が与える生命予後への影響の検討	血液浄化療法科 秋葉 隆 教授
3363	腰痛・肩こりに関する実態調査	東医療センター整形外科 千葉純司 教授
3364	HCV抗体検査票、梅毒抗体検査票、HIV抗体検査票の性能評価	中央検査部 川島 誠 運営部長
3365	小児腎臓移植レシビエントの精神発達と移植腎の生存	精神医学 石郷岡 純 教授
3366	腎移植後患者の病状・治療に関する観察研究（後向き観察研究）（略称：JACK）	泌尿器科学 田道一成 教授
3367	移植腎におけるBKウイルス腎症と尿漏うっ滞の関連についての臨床病理学的検討	泌尿器科 長嶋洋治 教授
3369	スクテンとエゼチミブ併用による尿中アルブミン減少と腎機能障害抑制効果	第四内科学 新田孝幸 教授
3370	自己免疫・アレルギー・炎症性疾患におけるペリオドン病との検討	リウマチ科 川口頼司 臨床教授
3371	アミオダロン内服治療に伴う甲状腺機能異常に関する観察研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3372	アルツハイマー型認知症の健忘の自覚：生活健忘チェックリストでの検討	神経内科学 北川一夫 教授
3373	冠動脈疾患と冠血流予備比の相関に関する観察研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3374	眼内手術等前後の眼圧および血圧変化に影響を与える因子の検討	眼科学 飯田知弘 教授
3375	早産児における左房容積および動脈管評価	母子総合医療センター新生児医学科 楠田 聡 教授
3378	アプレキントおよび経口フッ化ビロジミン薬（ディーエスワン®、ゼローダ®）の併用がワルファリン服用患者に与える影響の検討	薬剤部 木村利英 薬剤部長
3381	心房肺動脈連結ファンクン手術における右房拡大と右房壁厚を増悪させるリスクファクターに関する研究	循環器小児科 中西敏雄 教授
3382	一時的Fontan型手術と段階的Fontan型手術の比較	循環器小児科 中西敏雄 教授
3383	Fontan術後患者におけるICPC conversion適応基準についての検討	循環器小児科 中西敏雄 教授
3384	Fontan術後患者における心拍数と予後の関係	循環器小児科 中西敏雄 教授

平成 24 年 7 月 10 日

第三内科(糖尿病・代謝内科)に入院・通院中(または過去に通院・入院されたことのある)の患者さんまたはご家族の方へ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に平成 7 年 1 月 1 日から平成 26 年 10 月 31 日までの間に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病患者における腎症の病態、腎症合併患者における血圧・糖脂質代謝特性、腎症の発症・進展のメカニズム、さらには生命予後に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院第三内科

[研究責任者] 内潟安子 第三内科学 主任教授

[研究の目的]

糖尿病患者さんにおける腎症の病態を明らかにするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当科に入院・通院中の患者さん(または過去に入院・通院されたことのある患者さん)

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、尿

カルテ情報：年齢、性別、身体所見、疾患情報、検査結果(血液、尿、画像所見、生理学検査、病理学検査、手術記録、質問紙調査)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第三内科 担当医師 花井 豪

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成27年2月3日

循環器内科科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 両室ペーシングによる心不全患者の治療効果と予後に関する観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 主任教授 萩原誠久

【研究の目的】

両室ペーシング治療による心機能改善効果および予後予測因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成12年1月1日から平成26年12月31日の間に、両室ペーシング治療を行った患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成26年10月1日

外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 進行性がん患者の心理社会的側面に対するMSW介入の必要性について

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター 医療社会相談室

〔研究責任者〕 東京女子医科大学東医療センター 医療社会相談室室長 糟谷英俊

〔研究の目的〕

がんに対して積極的且つ継続的な治療を行う患者さんに対して医療ソーシャルワーカー（MSW）が支援を実施した事による効果を検証するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

がんの患者さんで、平成26年4月1日から平成26年6月31日の間に抗がん剤の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名・性別・身体所見

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久2-1-10

東京女子医科大学東医療センター 医療社会相談室 菊地桃

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-1154

平成●年●月●日

小児循環器科・心臓血管外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 TCPC術後に経食道心エコーにより検出される下大静脈-心外導管部血流プロフィールの後方視的検討：理論値との比較及び許容しうる血流速の同定

【研究機関】 東京女子医科大学病院麻酔科

【研究責任者】 尾崎 眞 東京女子医科大学 麻酔科学教室 主任教授

【研究の目的】

フォンタン手術(total cavo-pulmonary connection: TCPC)術後の下大静脈-心外導管吻合部血流を評価し、術後中心静脈圧など血行動態及び予後との関連を明らかにするとともに、理論的に観測しうる血流速との比較を行い、術直後に検出され且つ許容されうる血流速を明らかにすることを目的とする。

【研究の方法】**●対象となる患者さん**

2012年1月以降に東京女子医科大学心臓血管外科に入院し、フォンタン手術を施術された先天性心疾患患者

●利用するカルテ情報

年齢、性別、主たる診断名、手術既往、身体所見、手術記録（術式、手術時間、体外循環時間など）、麻酔記録（麻酔自動記録内データを含む）、術中経食道心エコー記録、術後人工呼吸時間、集中治療室入室期間、入院期間、合併症有無と合併症内容、転帰

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 黒川 智

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7336

平成26年8月18日

小児循環器科・心臓血管外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 小児における体外循環下心臓手術中の血中フィブリノゲン値・血小板数変動の後方視的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院麻酔科

【研究責任者】 尾崎 眞 東京女子医科大学 麻酔科学教室 主任教授

【研究の目的】

体外循環を用いた小児心臓手術中の止血・凝固機能を後方視的に検討し、小児における体外循環の止血・凝固機能に及ぼす影響及び輸血の効果を評価することを目的とする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成26年1月1日以降に体外循環を用いた心臓手術を受けた小児患者（15歳以下）

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、手術既往歴、輸血歴、新対処券、術前検査（血算、血液生化学、出血凝固検査）、術中麻酔記録（麻酔自動記録内データを含む）、体外循環記録、手術記録、集中治療室治療記録、術後検査（血算、血液生化学、出血凝固検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 黒川 智

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7336

平成 26 年 11 月 5 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Left Atrial Dissection Related to Retrograde Cardioplegia
Cannula Insertion （逆行性灌流カニューラに関連した左房解離）

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 津久井宏行 心臓血管外科 准講師

[研究の目的]

開心術中に発生した左房解離の原因究明のため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2013 年 1 月に開心術施行時に左房解離を発症した患者

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、体表面積、症状、診断名、既往歴、治療内容、検査結果、画像結果、手術記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 津久井宏行

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 26 年 10 月 3 日

新生児医学科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 早産児における 3 β -hydroxysteroid dehydrogenase/ Δ 5- Δ 4-isomerase
活性時期の予測に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科

[研究責任者] 楠田 聡、母子総合医療センター新生児医学科、教授

[研究の目的]

早産児における相対的な副腎機能低下症の診断法を開発するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

在胎 32 週以下の患者さんで、平成 18 年 10 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日の間に新生児医療に関する臨床研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：

患者基本情報：母体年齢、妊娠分娩歴、胎児数、膜性、出生順位、前期破水の有無、絨毛膜羊膜炎の有無、NRFS の有無、母体合併症、不妊治療の有無、母体感染症、母体治療薬、分娩様式、在胎週数、出生体重、性別、身長、頭囲、胸囲、院外出生の有無、母体搬送の有無、アプガースコア（1 分値、5 分値、10 分値）、先天奇形の有無、
疾患情報：合併症（呼吸窮迫症候群、新生児一過性多呼吸、肺出血、気胸、新生児一過性多呼吸、Dry Lung 症候群、慢性肺疾患、未熟児動脈管開存症、晚期循環不全、けいれん、脳室内出血、水頭症、脳室周囲白質軟化症、低酸素性虚血性脳症、子宮内感染症、敗血症、壊死性腸炎、消化管穿孔、未熟児網膜症、先天難聴、発達障害、視覚障害）、酸素投与、人工呼吸管理（高頻度振動換気を含む）、経鼻式陽圧換気、サーファクタント、ステロイド、インドメタシン、動脈管結紮術、抗菌薬、中心静脈栄養、未熟児網膜症レーザー治療、輸血、エリスロポエチン、入院日数、死亡、在宅酸素、気管切開

血液検査結果：血算、肝機能、腎機能、電解質、血糖、甲状腺機能、代謝ステロイド

画像検査所見：胸腹部 X 線、CT、MRI、心エコー、脳エコー、腎エコー

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科

担当医師 増本健一

電話 03-5269-7345 FAX 03-3355-3050

平成 26 年 12 月 4 日

産婦人科および母子総合医療センターに通院中または過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることにより行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 出生前診断による胎児染色体異常の診断後の妊娠帰結に関する研究

[研究機関] 国立成育医療研究センター 他

[研究責任者] 左合治彦 周産期・母性診療センター

[研究の目的]

本邦において出生前診断で胎児染色体異常が診断された後の妊娠帰結の現状は明らかになっていない。そこで、本研究では当院ならびに研究協力施設における絨毛ならびに羊水による染色体検査で、胎児染色体異常が判明した症例の妊娠帰結を把握することを目的とした

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 20 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に当院で羊水染色体検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、診断名、治療内容、検査結果、羊水染色体検査の受検理由、住所地、妊娠転帰、分娩転帰、児の転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 母子総合医療センター

担当医師 小川正樹

電話 03-3353-8111 内線 29433 FAX 03-5269-7350

平成 27 年 2 月 1 日

東京女子医科大学医学部の
学生さん、卒業生の方、薬害ワークショップに参加された薬学部学生さんへ
-研究に関する情報および研究に対するご協力のお願い-

本学では、以下の研究を実施しております。この研究は、皆さんが医学教育の講義、実習、ワークショップなどで提出された過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 医学生に対する人間関係教育の有効性に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学 人間関係教育委員会

[研究責任者] 齋藤加代子、遺伝子医療センター 教授

[研究の目的]

人間関係教育の教育効果、各プログラムの有効性を検証するため

[研究の方法]

●対象となる方

平成 22 年～平成 32 年に医学部に入学した学生および卒業生、および薬害ワークショップに参加された薬学部学生

●利用する情報

提出されたアンケート、レポート、記録用紙、自己診断カード

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、学生さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も学生さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 化学教室 担当教員 岡田みどり

電話 03-3353-8112 (内線) 30121 FAX 03-5269-7312

平成 26 年 12 月 19 日

リウマチ科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 関節リウマチに併発する器質化肺炎における病態機序の解明

【研究機関】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

【研究責任者】 膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科 教授 山中寿

【研究の目的】

関節リウマチに併発する器質化肺炎における病態を解明するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間にリウマチ・膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

担当医師 五野貴久

電話 03-5269-1725 FAX03-5269-1726

平成 26 年 12 月 19 日

リウマチ科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、残余検体として保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 炎症性筋疾患における疾患活動性の現状把握と予後予測因子の同定

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

[研究責任者] 膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科 教授 山中寿

[研究の目的]

炎症性筋疾患の患者さんの健康状態の把握と予後予測因子を明らかにすること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

多発性筋炎ないし皮膚筋炎の患者さんで、平成 16 年 5 月 1 日から平成 26 年 2 月 28 日の間にリウマチ・膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、肺機能検査、筋電図、筋病理）、など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

担当医師 五野貴久

電話 03-5269-1725 FAX03-5269-1726

平成 26 年 12 月 5 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の有効性についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 山本雅一・消化器外科・主任教授

[研究の目的]

下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の治療効果と有用性を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

下部直腸癌で平成 21 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に下部直腸癌に対する術前化学放射線療法を受けた方

●利用するカルテ情報

下部直腸癌、年齢、性別、検査結果（血液検査、各種画像検査、病理組織学的組織）、手術記録、麻酔記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 中川了輔

電話 03-3353-8111(内線:28529) FAX 03-5269-7435

平成 26 年 12 月 22 日

神経精神科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

精神科病棟におけるベンゾジアゼピン系薬剤の使用量最少化への取り組み後の調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院 薬剤部

[研究責任者] 木村 利美 薬剤部 部長

[研究の目的]

ベンゾジアゼピン系薬剤の使用量最少化への取り組みの効果を調査するため

[研究の方法]**●対象となる患者さん**

平成 25 年 4 月 1 日から 6 月 30 日、平成 26 年 4 月 1 日から 6 月 30 日の間に当院神経精神科病棟に入院していた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、既往歴、診断名、入院時のフローア、内服薬

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 薬剤部 外賀 真佑美

電話 03-3353-8112 (PHS 29923)

平成 26 年 12 月 20 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめる事で行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】腎癌（4cm-7cm の大きさ）に対する腎部分切除術における腎実質無縫合法と縫合法の臨床成績の比較

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 泌尿器科 主任教授 田邊一成

【研究の目的】

腎癌に対する治療を最適化するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎癌の患者さんで、2010 年 1 月 1 日から 2014 年 7 月 31 日の間に腎部分切除術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、全身状態、症状の有無、病期ステージ、組織型、異型度、BMI (body mass index)、腫瘍径、観察期間、CT 写真

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 11 月 25 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、すでに治療終了されている患者さんのカルテを閲覧し、診療情報を調査して行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 治癒切除不能膵癌に対する^{フォルフィリノックス}FOLFIRINOX療法の観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学附属八千代医療センター

[研究責任者] 新井田 達雄（消化器外科 教授）

[研究の目的]

膵臓がん治療における FOLFIRINOX 療法の安全性（副作用など）を評価するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膵臓がんの方で、2013 年 12 月 20 日以降に、オキサリプラチン、イリノテカン、フルオロウラシル、レボホリナートカルシウムを併用した治療法（FOLFIRINOX 療法）を受け、現在すでに治療終了されている方

●利用する検体およびカルテ情報

身長、体重、全身状態、下痢の有無、自覚症状、他覚症状、
血液検査結果（血液学的検査、血液生化学検査、腫瘍マーカー）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター 消化器外科 研究担当医師：倉持 英和

電話 047-450-6000（代表）

平成 27 年 1 月 19 日

通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 消化器内視鏡に関連した偶発症の後ろ向き全国調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科、消化器内視鏡科

【研究責任者】 消化器内視鏡科 教授 中村 真一

【研究の目的】

消化器内視鏡（検査・治療）に関連した偶発症の実態を明らかにするため、日本消化器内視鏡学会が 5 年毎に行う全国調査です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 20 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日の間に消化器内視鏡（検査・治療）を受けた方。

●利用するカルテ情報

偶発症が発生した方の、診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡検査）、経過用紙、手術記録。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内視鏡科 担当医師 中村 真一

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7435

平成 27 年 1 月 15 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめる事で行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 透析腎癌と散発性腎癌の臨床・病理学的特徴と癌特異的生存率の比較検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 泌尿器科 主任教授 田邊一成

〔研究の目的〕

腎癌に対する治療を最適化するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎癌の患者さんで、1973 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日の間に腎部分切除術ないし根治的腎摘除術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、全身状態、症状の有無、病期ステージ、組織型、異型度、透析期間、身長、体重、腫瘍径、観察期間

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。さらに、採取したデータは特定の個人と識別できない様に処理する為、研究に不同意であった場合でもデータを削除できないことになります。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 1 月 日

形成外科、整形外科、循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 重症症例の下肢切断術の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院麻酔科

〔研究責任者〕 麻酔科 主任教授 尾崎眞

〔研究の目的〕

下肢切断術の麻酔管理、周術期の治療向上のために過去の記録、経過、影響を与える因子を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

糖尿病性下肢壊死、閉塞性動脈硬化症の患者さんで、平成 16 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に下肢切断術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓超音波検査、血管検査、）、その他 手術記録、麻酔記録

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 濱田啓子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3359-2517

平成 27 年 1 月 5 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 関節リウマチ患者における足部足関節機能障害評価方法と、保存療法ならびに手術的治療における成績不良因子の後向き研究

【研究機関】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

【研究責任者】 桃原茂樹、膠原病リウマチ痛風センター、教授

【研究の目的】 リウマチ上肢機能障害に対するよりよい評価方法の確立と、各種治療法の成績不良因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、平成 10 年 4 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間にリウマチ性足部足関節障害の検査や治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、細菌学的検査）、アンケート結果、手術記録、術中所見、病理組織学的所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 矢野紘一郎

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 26 年 12 月 8 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] C 型肝炎ウイルス抗体陽性ドナーより抗体陰性レシピエントへの腎移植の予後の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院泌尿器科

[研究責任者] 泌尿器科 主任教授 田邊一成

[研究の目的] C型肝炎ウイルス抗体陽性ドナーから抗体陰性レシピエントへの移植例を調査することにより抗体陽性ドナーによる移植適応の可能性について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

慢性腎不全の患者さんで平成 1 年 11 月 1 日から平成 26 年 11 月 30 日の間に C型肝炎ウイルス抗体陽性ドナーより腎移植を受けた方および提供された腎移植ドナーの患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、C 型肝炎抗体検査、RNA PCR 検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 海上耕平

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 10 月 22 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫再発時治療における合併症と生存率の
関係の後方視研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液内科

【研究責任者】 東京女子医科大学血液内科・主任教授・田中淳司

【研究の目的】

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫再発難治症例の治療効果を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫再発難治例の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から
平成 26 年 9 月 30 日の間にびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、病理組織型、進行期、既往歴、前治療歴、併存合併症の有無、
血液生化学検査、画像評価、治療内容、治療効果、治療関連の副作用

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し
ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で
きる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 田中 紀奈

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成27年1月5日

東京女子医科大学東医療センター整形外科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある)の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 関節リウマチにおける生物学的製剤効果不十分例における K-method の有効性と安全性

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター整形外科

[研究責任者] 千葉 純司、東京女子医大東医療センター整形外科教授

[研究の目的] 関節リウマチの生物学的製剤治療中のトリアムシノロンアセトニド関節注射を行なった方と行なっていない方の有効性と安全性の検討

[研究の方法]

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、2012年1月1日から2014年12月31日の間に生物学的製剤の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター整形外科

担当医師 神戸克明

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-9934

平成 26 年 12 月 15 日

脳神経外科で覚醒下開頭手術を受けられた患者さんまたはご家族の方へ ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 覚醒下開頭手術の周術期管理法に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院麻酔科，同 脳神経外科

【研究責任者】 尾崎 眞 東京女子医科大学 麻酔科学教室 主任教授

【研究の目的】 覚醒下開頭手術における安全な周術期管理法を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

脳腫瘍の患者さんで、平成 11 年 11 月 12 日から平成 27 年 1 月 31 日の間に覚醒下開頭手術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ・ 年齢，性別，身長，体重，主症状，術前全身状態および内服薬
- ・ 脳腫瘍の組織型とグレード，腫瘍位置，臨床経過，腫瘍摘出率
- ・ 麻酔時間，全手術時間，顕微鏡下手術時間，覚醒下手術時間
- ・ 術中気道管理法，術中呼吸管理法，術中水分出納
- ・ 手術時の生体情報記録（血圧，心拍数ほか）
- ・ 麻酔前投薬，術中使用薬剤（鎮静薬，鎮痛薬，筋弛緩薬，循環作動薬）
- ・ 術中神経生理学的モニタリング，術中 MRI 撮影，術中光線力学療法
- ・ 術中合併症の有無とその種類，治療法
- ・ 術後合併症の有無とその種類，治療法

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前，住所など，患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また，研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが，その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 尾崎 眞

電話 03-5269-7336 FAX 03-5269-7336

平成 26 年 12 月 29 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 LMX1B 関連腎症の実態調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓小児科科

【研究責任者】 腎臓小児科 教授 服部元史

【研究の目的】

LMX1B 遺伝子は爪膝蓋骨症候群(Nail-Patella 症候群)という全身性疾患を起こすことがわかっていましたが、この遺伝子の異常は進行性腎臓病も起こすことがわかりました。この遺伝子の異常が原因となる腎臓病（LMX1B 関連腎症）の特徴を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

LMX1B 腎症の患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、生年月、性別、血族歴、家族歴、遺伝子解析施行の有無、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査）、腎生検所見、診断時から現在までの臨床経過について調査します。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 服部元史

電話 03-3353-8111・・・ FAX 03-3356-0293・・・

平成 27 年 1 月 13 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 成人フォンタン術後の上室性頻拍に対するカテーテルアブレーションの
予後

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科，循環器科

〔研究責任者〕 循環器小児科 中西敏雄

〔研究の目的〕当院でカテーテルアブレーションを施行した成人先天性心疾患の上室性頻拍の全体の傾向を把握すること。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

右房肺動脈吻合術を施行されたフォンタン術後患者さんで 2003 年 3 月から 2014 年 8 月の間にカテーテルアブレーションの治療を受けた方

●利用するカルテ情報

個人情報を持定できる情報を除いた、カルテ上の記録とカテーテルアブレーションの記録を用いました。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 宮本健志

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 1 月 26 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 リツキシマブ投与による腎移植後のサイトメガロウイルス初感染における影響に対する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科主任教授 田邊一成

【研究の目的】

リツキシマブ投与における腎移植後サイトメガロウイルス初感染に対する影響を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日から 2014 年 10 月 1 日までに腎移植後サイトメガロウイルス初感染を発症し治療を受けた患者さん全ての方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、慢性腎不全の原因疾患、腎移植日、ABO 適合性、移植の回数、透析治療の導入前に腎移植を行ったか否か、免疫抑制剤の種類、サイトメガロウイルス初感染日、初感染時の症状・血液検査・その前後の拒絶反応の有無・治療に要した入院期間・治療方法など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜

電話 080-1965-4208 FAX 03-5269-7321

平成 26 年 12 月 30 日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] **肝細胞癌に対する解剖学的および非解剖学的切除に関する比較検討**

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 山本雅一 東京女子医科大学消化器外科 主任教授

[研究の目的] 本邦および韓国における肝細胞癌の術後成績を調査します。手術の方法（解剖学的切除と非解剖学的切除）によって生存率や再発率に差があるか調査します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝細胞癌（疾患名）の患者さんで、2003 年 1 月 1 日から 2007 年 12 月 31 日までに肝切除による治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 手術前情報。年齢、性別、肝炎ウイルス（HBV, HCV）など肝疾患、肝機能検査（Child-Pugh 分類、ICG 値、ビリルビン値、アルブミン値、PT 時間、AST、ALT、血小板値）、腫瘍マーカー（AFP、PIVKAII）、
- ② 手術情報。手術日、腫瘍の存在区域、術式（解剖学的切除、非解剖学的切除）、出血量、輸血の有無、手術時間
- ③ 合併症、術後死亡の有無。術後在院日数。
- ④ 病理組織所見。非癌肝組織、腫瘍径、腫瘍数、肝内転移、肉眼または顕微鏡的脈管侵襲、分化度、ステージ
- ⑤ 再発の有無。再発がある場合は手術日から再発確認日までの期間。再発した区域。再発肝細胞癌に対する治療。生死。死亡の場合は手術日から死亡日までの期間。生存の場合は最終生存確認日。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 有泉俊一

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 26 年 12 月 10 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療
で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関する
お問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会くださ
い。

【研究課題名】 心サルコイドーシス患者の臨床的特徴および転帰に関する
後向き研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 萩原誠久 循環器内科 主任教授

【研究の目的】

症例数の多い当院における心サルコイドーシスの実態調査により心サルコ
イドーシス症例の治療経過、転帰に関する実態調査により、リスクの層別化
ならびに治療効果を検討し、今後の予後改善を図る。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1990年4月から2014年12月までの期間に東京女子医科大学循環器内科に通院または入院した20歳以上の心サルコイドーシスの患者を対象とする。

●利用するカルテ情報

- ①患者背景；年齢、性別、合併症、身長、体重
- ②既往歴；
- ③生理・画像検査データ；心電図、胸部レントゲン、心エコー、MRI、心筋シンチ、FDG-PET、Ga シンチ、生化学（ビリルビン、AST、ALT、LD、クレアチニン、尿素窒素、ナトリウム、カルシウム、尿酸、ACE、リゾチーム）、血算（白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット）、BNP、ホルター心電図、LP
- ③治療歴（ステロイド導入の有無、投与量、 β 遮断薬、ACEI/ARB、利尿剤、抗不整脈薬の有無）
- ③経過・転帰（心機能の経過、心臓関連入院の有無、死亡の有無、不整脈の有無）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報 は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合にも個人情報が匿名化されているため対応できませんのであらかじめご了承ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 芹澤直紀

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

2015年1月5日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に関する情報及び臨床研究に対するご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療でえられた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら以下の＜問い合わせ＞へご参照ください。

研究課題名：肝細胞癌症例における臨床病理学的進展因子予測のための腫瘍マーカーdoubling time 測定の意義に関する検討

研究機関：東京女子医科大学病院 消化器外科（共同研究機関：東京医科歯科大学附属病院 肝胆膵外科慶応義塾大学病院 一般・消化器外科、聖マリアンナ医科大学病院 消化器外科、横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学）

研究責任者：東京女子医科大学 消化器外科 主任教授 山本雅一

研究の目的：今回の試験では、通常行われている治療前の腫瘍マーカー測定の2回の測定値から算出されるダブリングタイム（倍加速度）と、手術後の病理組織学的所見との対比により、画像検査で診断しえない部分（癌の進行度）をある程度評価することが可能かどうか検証します。これにより今回臨床試験として行われる新しい検査方法の妥当性を確認します。この新しい検査方法が有用であることが判れば今後の肝細胞癌に対する治療方針決定に非常に有意義なものになります。

研究の方法

対象となる患者さん：“肝細胞癌”の診断で手術を受けられた方。

利用するカルテ情報：腫瘍マーカー測定（採血検査）2回測定する腫瘍マーカーの値と手術によって摘出された標本の病理診断結果です。

個人情報の取り扱い

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

＜問い合わせ先＞東京都新宿区河和田町8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科 担当医師 山下信吾

03-3353-8111 F A X 03-5269-7507

平成 27 年 2 月 3 日

木野産婦人科医院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 妊婦の健康管理と分娩等に関するデータベースの樹立とその分析

[研究機関] 東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二講座

[研究責任者] 山口直人 衛生学公衆衛生学第二講座 主任教授

[研究の目的]

妊婦の健康管理と分娩等に関するデータベースを樹立・分析することで、より安全なお産に役立つようなエビデンスを得るため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

今までに妊婦健診を受診されたことのある方

●利用するカルテ情報

妊婦検診等の既存の検査結果を使用する。以下の項目について、観察および検査を実施し、そのデータを本研究に利用する。

血算（RBC, WBC, Hb, Ht, Plt）, BUN, Cr, UA, 血糖等、尿蛋白, 尿糖, 尿潜血, 尿沈渣等、妊娠合併症の有無、既往歴（糖尿病、高血圧、精神疾患、婦人科疾患等）、分娩週日、分娩母体体重、単胎・多胎妊娠、分娩様式、出生児の体重等

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 衛生学公衆衛生学第二講座 担当医師 遠藤源樹

電話 03-3353-8111

平成27年2月12日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 開胸手術後の遷延創部痛の発生率の後ろ向き検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院麻酔科

【研究責任者】 東京女子医科大学 麻酔科 主任教授 尾崎眞

【研究の目的】

開胸手術のあとに、慢性的な痛みが残らないように、予防法などを検討する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肺疾患の患者さんで、平成26年1月1日から平成26年12月31日の間に胸腔鏡下肺切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、呼吸機能検査）、術後の使用鎮痛剤

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 岩出宗代

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7336

平成 27 年 1 月 19 日

眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院眼科

〔研究責任者〕 飯田知弘 東京女子医科大学 眼科主任教授

〔研究の目的〕

症例数が少なく、原因不明で治療方法も未確立であり、かつ、生活面で長期にわたる支障がある疾患である「難治性疾患」のうち、特に眼科分野における網膜脈絡膜・視神経萎縮症を対象として行う研究で、対象疾患における全国共通の診断基準および診療ガイドラインを作成すること。また、その罹患者数を調査すること。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

網膜脈絡膜・視神経萎縮症、具体的には萎縮型黄斑変性、強度近視性網膜脈絡膜萎縮、急性帯状潜在性網膜外層症、家族性滲出性硝子体網膜症、黄斑ジストロフィ、網膜色素変性、レーベル病の患者さんで、当院に通院歴のある方

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③診断名④治療内容⑤検査結果（視力、眼圧、屈折など）⑥画像診断結果（眼底写真、蛍光眼底造影写真、光干渉断層計など）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* ご不明な点があれば、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院眼科

担当医師 丸子一郎

電話 03-3353-8111（眼科 31512）

FAX 03-5269-7343

平成 26 年 1 月 20 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 クロウン病におけるアダリムマブ投与症例の中長期的予後と
影響因子の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学 消化器内科 主任教授 立元 敬子

〔研究の目的〕

全国多施設でクロウン病に対してアダリムマブを投与した症例の成績を後ろ向きに解析し、中・長期的な有効性と安全性とその関連因子について検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2010 年 10 月 27 日以降に投与を開始され、2013 年 12 月 31 日までにクロウン病に対してアダリムマブを 1 度でも投与した患者さん

●利用するカルテ情報

（1）患者背景

性別、年齢（生年月日）、身長、体重、治療歴、併用治療、インフリキシマブの治療歴、罹病期間（診断からの期間）、病型、手術歴、肛門病変、人工肛門、喫煙歴、アダリムマブ導入理由、CRP、CDAI3）、アルブミン

（2）投与・処方開始日、最終処方日（および最終観察日）

（3）アダリムマブの最終処方日の処方本数

（4）アダリムマブ投与中止の場合の中止理由

（5）投与後の腸管切除の有無および有の場合の腸管切除日

（6）投与後の臨床的寛解（CDAI 150 未満）、粘膜治癒達成の有無

（7）アダリムマブ期間短縮・増量の有無と実施日

（8）アダリムマブのアドヒアランス順守状況（80%の順守を基準とする）

（9）有害事象の有無とその内容

重篤な感染症とその内容、注射部位反応、乾癬様皮疹、アナフィラキシー様症状、その他の有害事象

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科

担当医師 大森鉄平

電話 03-3353-8111 (内線 25116)

糖尿病網膜症についての調査 ご協力をお願いします

“千葉県糖尿病対策推進会議”は、糖尿病の診療を改善する目的で設立されました。千葉県医師会の会員医師と糖尿病専門医が中心になって活動しています。

この度、糖尿病網膜症(悪化すると視力の低下や失明の原因になります)について、調査をすることになりました。県の糖尿病診療を改善する対策に役立てることが目的です。調査は、主に網膜症に関する受診状況、血糖や血圧の管理状態について、主治医が診療録(カルテ)を基に、調査用紙に記入します。実施期間は平成26年 月 日から1週間の予定です。なお、個人が特定される情報は盛り込まないなど厳重なデータ管理により、個人情報が出漏することはありません。

実施期間中に受診される皆様には、この調査に是非協力していただきしたいと思います。詳しいことをお聞きしたい方は主治医にご相談ください。なお、ご協力いただけない場合でも、診療に不利になることはありませんので、申し出てください。また、調査後1週間以内であればデータの取り下げも可能です。

よろしくお願い申し上げます。

施設名 :
担当医 :
千葉県糖尿病対策推進会議

平成 27 年 2 月 19 日

神経精神科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当院におけるクロザピン治療経験

[研究機関] 東京女子医科大学

[研究責任者] 石郷岡 純 東京女子医科大学 神経精神科 教授

[研究の目的] 治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン治療のさらなる発展に貢献できる

[研究の方法]

●対象となる患者さん

統合失調症の患者さんで、平成 21 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間にクロザピンの治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査、心電図検査、処方、副作用

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当医師 森永頼鷹

電話 03-3353-8111 内線 29889

平成 27 年 2 月 25 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 植込み型除細動器植込み患者の作動リスクと予後に関する観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 主任教授 萩原誠久

【研究の目的】

植込み型除細動器の作動状況とそのリスク因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 2 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に、植込み型除細動器植込み術を行った患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 2 月 2 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 重症心不全患者における強心薬離脱因子の検討に関する観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 主任教授 萩原誠久

【研究の目的】

重症心不全患者における強心薬の離脱因子を明らかにすること

●対象となる患者さん

平成 9 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に、心移植登録を検討され強心薬静注投与を行った患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 服部英敏

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 2 月 25 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 致死性不整脈に対する抗不整脈薬静注の効果と副作用に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原誠久

[研究の目的]

心室性不整脈に対する抗不整脈薬静注の効果と副作用の有無を明らかにすること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 1 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に、心室性不整脈に対してリドカイン、ニフェカランまたはアミオダロン静注投与を行った患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 2 月 5 日

外来心臓リハビリテーションに通院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心臓リハビリテーション介入による心拍減衰応答の変化とその関連因子および予後との関連についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 循環器内科

〔研究責任者〕 萩原誠久 東京女子医科大学 循環器内科 教授

〔研究の目的〕 心臓リハビリテーションを行うことによる運動後の心拍数の減り方に影響する要因や、運動後の心拍数の減り方とその後の心臓血管系の病気の起こりやすさについての関連を明らかにすること。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心筋梗塞もしくは狭心症に対し当院にて入院された後、2011年5月から2013年9月までの期間に外来心臓リハビリテーションをされた方で、開始時と3か月時に心肺運動負荷試験を行った患者さん。

●利用するカルテ情報

- ①診断名、年齢、性別、血液検査結果
- ②動脈硬化の危険因子
- ③糖尿病合併症(腎症、網膜症合併の有無と程度)
- ④心臓の機能
- ⑤心肺運動負荷試験(心拍数、酸素摂取量)
- ⑥服薬内容
- ⑦半年後の心血管イベント(心血管死、非致死性心筋梗塞、経皮的冠動脈形成術施行)の発生

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 上野敦子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 1 月 30 日

産婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 中リスク群および高リスク群の子宮体がんに対する、術後補助療法の様式が予後に与える影響に関する多施設後方視的研究

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター産婦人科

【研究責任者】 東医療センター産婦人科 教授・高木 耕一郎

【研究の目的】

中リスク群、高リスク群の子宮体がん患者の術後補助療法における、放射線治療あるいは化学療法の、予後に対する影響を調べる

【研究の方法】

●対象となる患者さん

子宮体がんの中リスク群および高リスク群に該当する患者さんで、平成 8 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日の間に初回治療として手術が施行され、術後補助療法を受けた方

●利用するカルテ情報

生年月日、手術日、身長・体重・および合併症、病理診断、腹水細胞診、進行期、手術術式、筋層浸潤、脈管侵襲、摘出リンパ節の個数、術後補助療法の種類、有害事象、術後補助療法を完遂できたかどうか、再発の有無、再発確認日、再発確認方法、初回再発部位、初回再発に対する治療法、最終患者診察日、等

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター産婦人科

担当医師 長野浩明

電話 03-3810-1111 FAX 03-38004786

平成 27 年 1 月 30 日

産婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 我が国における再発上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がんに対する secondary debulking surgery の現状と再々発時の治療法および予後に関する調査研究

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター産婦人科

【研究責任者】 東医療センター産婦人科 教授・高木 耕一郎

【研究の目的】

- ① 我が国における再発卵巣がん・卵管がん・腹膜がんに対する 2 回目の腫瘍減量術後の再発の現状、治療法、予後を調査する。
- ② 再々発に対する治療法のうち 3 回目の手術の現状を把握し、その適応について検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

卵巣がん・卵管がん・腹膜がんの患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 26 年 9 月 31 日の間に初回治療を受け、再発に対して根治を目的とした 2 回目の手術を受けた方

●利用するカルテ情報

初回治療時の年齢、診断日、初回治療日、組織型、進行期分類、初回手術術式、化学療法（術前、術後）の有無、内容、最終投与日、完全奏効の確認日、再（再々）発診断手段（CT、PET-CT）、再（再々）発診断日、再（再々）発時腫瘍マーカー値、再（再々）発部位、個数、大きさ、ECOG performance status (PS)、再（再々）発手術の術式、手術日、術後化学療法の有無、内容、最終投与日、完全奏効の確認日、再々発手術の合併症、再々発手術を施行しなかった場合の治療内容、最終フォローアップ日、等

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター産婦人科

担当医師 長野浩明

電話 03-3810-1111 FAX 03-38004786

平成 27 年 2 月 1 日

循環器内科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 慢性心不全患者を対象としたペリンドプリルの長期治療成績に関する調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原 誠久

[研究の目的]

慢性心不全に対しペリンドプリル（コバシル®錠）が処方された患者について、イベント（心不全入院、死亡）の発生と臨床背景について検討をおこない、その治療成績についての評価を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2005 年 3 月 1 日から 2015 年 2 月 28 日までに東京女子医科大学病院循環器内科に通院または入院した慢性心不全患者さんのうち、ペリンドプリル（コバシル®錠）の処方がおこなわれた患者さん

●利用するカルテ情報

性別、年齢、身長、体重、基礎心疾患、既往歴、心不全の病歴、心不全の治療歴、デバイスの有無（植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、手術歴、透析歴、喫煙の有無、心臓超音波検査、心プールシンチグラフィ、左室造影検査、薬の使用状況、血液検査（血清クレアチニン、クレアチニンクリアランス、BNP、血清カリウム）、血圧、心拍数、入院日、入院の詳細、入院時の画像所見、最終観察日（外来受診日、入院確認日、退院日）、死亡日、死亡理由

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター 担当 長沼 美代子

電話 03-5269-7493 FAX 03-5269-6745

平成 27 年 2 月 5 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心不全患者の心肺運動負荷試験から得られる因子と他の因子
および予後との関係についての研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 循環器内科

【研究責任者】 萩原誠久 循環器内科 主任教授

【研究の目的】

吐く息を運動しながら測定する心肺運動負荷試験の結果から、他の検査結果と合わせて現在の心不全の状態を知り、治療内容決定に役立てることを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

心不全の患者さんで、平成 22 年 11 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に心肺運動負荷試験を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、基礎心疾患、合併疾患、治療内容、予後
- ②心肺運動負荷試験結果
- ③血液検査結果
- ④心エコー検査結果
- ⑤心臓カテーテル検査結果
- ⑥心電図検査、ホルター心電図検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 上野敦子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 1 月 9 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心膜切開後症候群におけるアスピリンの有用性の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 中西敏雄

【研究の目的】

心房中隔欠損症の術後管理において予防的アスピリン投与の必要性を知るため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

心房中隔欠損症の患者さんで、平成 19 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に心臓血管外科において心房中隔欠損症の外科的治療手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、体重、体温、入院期間、検査結果（血液検査、超音波検査、心電図検査）、内服薬、退院時処方薬

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 中西敏雄

電話 03-3353-8111

平成 27 年 2 月 3 日

循環器内科に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心不全におけるトルバプタンの利尿効果予測因子としてのBil/ALT比の有効性

※ Bil：ビリルビン、ALT：アラニンアミノトランスフェラーゼ

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原 誠久

[研究の目的]

心不全に対しトルバプタンが処方された患者の有効性の有無を、Bil/ALT 比により予測できるかどうかを評価する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2010 年 12 月 1 日から 2014 年 4 月 30 日までに東京女子医科大学病院循環器内科に入院した心不全患者さんのうち、トルバプタンの処方がおこなわれた患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見、基礎心疾患、既往歴（高血圧、糖尿病、冠動脈疾患、左室機能不全の有無）、デバイスの有無（植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、内服および静脈注射薬の使用状況、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心臓カテーテル検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当 岡山 大

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 3 月 6 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 除細動デバイス植え込み症例における循環器作動薬併用に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原 誠久

[研究の目的]

当院で心室細動・心室頻拍に対する治療として、植込み型除細動器（ICD）や除細動器付き心臓再同期療法（CRT-D）、ペースメーカーが植込まれた患者様について、抗不整脈薬などの心臓に対する薬の使用状況、ならびに ICD/CRT-D の作動状況などを調査する研究です。

「研究の方法」

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院にて、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の間に、植込み型除細動器（implantable cardioverter defibrillator : ICD）や除細動機能付き心臓再同期療法（cardiac resynchronization therapy with defibrillation : CRT-D）が新規に植え込まれた患者様

●利用するカルテ情報

性別、年齢、植え込みデバイスの種類（植込み型除細動器:ICD、除細動器付き心臓再同期療法:CRT-D）および植え込み年月日、ICD/CRT-D の作動状況および適応とした不整脈、基礎心疾患、合併疾患、臨床所見（NYHA 心機能分類、心臓超音波検査、BNP 値）、心電図所見、循環器薬使用歴、死亡の有無（有の場合はその年月日とその原因）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 志賀 剛

電話 03-3353-8111 (内線 23110、23111) FAX 03-3356-0441

平成 27 年 3 月 6 日

循環器内科に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ**-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 慢性心不全患者の薬物治療・非薬物治療の実態調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原 誠久

[研究の目的]

日本人心不全入院患者を対象に、薬物および非薬物治療の実態とその治療が予後、再入院、医療経済に及ぼす影響について検討すること

[研究の方法]**●対象となる患者さん**

東京女子医科大学循環器内科に、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までに入院した全ての心不全患者

●利用するカルテ情報

患者背景（年齢、性別、基礎心疾患）

入院時検査（血液検査、心電図諸君、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査）

入院時処置（薬物・非薬物治療）

退院後の治療と医療機関

死亡と再入院の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 志賀 剛

電話 03-3353-8111（内線 23110.23111） FAX 03-3356-0441

平成 27 年 3 月 10 日

東京女子医科大学八千代医療センター小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症に対する多施設共同コホート研究

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科

[研究責任者] 寺井勝 東京女子医科大学八千代医療センター小児科 教授

[研究の目的]

たくさんの症例データに基づいて、「二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症」に対する本当に有効な治療方法を探すことです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症の患者さんで、平成 20 年 1 月 1 日以降に治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、神経所見、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査、脳波検査）、神経予後など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京女子医科大学八千代医療センター 小児科

担当医師 高梨潤一

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 27 年 3 月 12 日

血液浄化療法科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] クリアランスギャップ（CL-Gap）が与える生命予後への影響の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院血液浄化療法科

[研究責任者] 秋葉 隆 東京女子医科大学 血液浄化療法科 教授

[研究の目的] CL-Gap（透析効率の指標）を使って、透析患者さんの寿命の評価が可能かどうかを調べる為。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院外来の透析患者さんで、平成 24 年 4 月から平成 27 年 4 月の間に当院にて透析治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①2015 年 4 月時点での生存情報
- ②2012 年 4 月から 2015 年 4 月時点までのシャント治療歴
- ③2012 年 4 月から 2015 年 4 月時点までの入院歴
- ④年齢、性別、身長などの患者さんの基本情報
- ⑤血流量、使用透析液、使用ダイアライザなどの透析治療の条件
- ⑥BUN、クレアチニン、Hct、Hb などの検査データ

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液浄化療法科 担当医師 秋葉 隆

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7368

平成27年2月19日

東京女子医科大学東医療センター整形外科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある)の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腰痛、肩こりに関する実態調査

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター整形外科

[研究責任者] 千葉 純司、東京女子医大東医療センター整形外科教授

[研究の目的] 腰痛、肩こりのレントゲン写真と病歴を調査し、腰痛と肩こりの関係、および腰痛や肩こりを引き起こす予測因子を解明することが目的である。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

腰痛あるいは肩こりを有する患者さんで、2012年1月1日から2014年12月31日の間に外来あるいは入院治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター整形外科

担当医師 神戸克明

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-9934

平成 27 年 月 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、保管された残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 HCV 抗体検査薬、梅毒抗体検査薬、HTLV 抗体検査薬の性能評価

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 中央検査部 運営部長 川島 眞

【研究の目的】

新しい検査薬（C 型肝炎ウイルス、梅毒、成人 T 細胞白血病）と現在使用されている検査薬の結果を比較して、新しい検査薬の性能を確認します。この研究はシーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社の受託研究として行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

感染症検査を受けられた患者さんで、残余検体のある方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（血清）

カルテ情報：感染症検査結果（ウイルス）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8111 (38215) FAX 03-5269-7469

平成 27 年 1 月 31 日

神経精神科/心身医療科に通院中の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児腎臓移植レシピエントの精神発達と移植腎の生着

[研究機関] 東京女子医科大学病院 神経精神科/心身医療科

[研究責任者] 石郷岡 純 東京女子医科大学 精神医学教室 主任教授

[研究の目的]

小児腎臓移植レシピエントの精神的問題が移植腎の生着に与える影響を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

小児腎臓移植レシピエントの患者さんで、2006 年 1 月 1 日から 2015 年 2 月 28 日の間に心身医療科小児移植外来を受診した方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、生活史、診断名、検査結果、治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科/心身医療科

担当医師 河野美帆

電話 03-3353-8111 FAX 03-3351-8979

平成 27 年 3 月 4 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 腎移植後患者の病状・治療に関する観察研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 泌尿器科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学 泌尿器科 主任教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

今後の腎移植後患者さまの治療方法の改善させるために、通常診療の範囲内にて蓄積される皆様の定期的な尿検査、血液検査、腎臓組織検査（腎生検）にて移植された腎臓の機能維持に関する要因を研究する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院泌尿器科で腎移植を実施された 16 歳以上の患者さまを対象とします。ただし、合併症や検査結果により、担当医師が不適切と判断された患者さまは参加いただけません。

●利用するカルテ情報

- ① 患者さまの背景情報（性別、年齢、身長、体重、血液型、透析期間、原疾患、術前合併症など）
- ② 血液検査（血清クレアチニン、血糖値、血中タクロリムス濃度など）
- ③ 尿検査（尿蛋白など）
- ④ 腎生検結果
- ⑤ 服薬状況確認
- ⑥ 合併症発生状況

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 奥見雅由

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 3 月 31 日

泌尿器科、腎臓外科、腎臓小児科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 移植腎における BK ウイルス腎症と尿流うっ滞の関連についての
臨床病理学的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院病理診断科

【研究責任者】 長嶋洋司、病理診断科、教授

【研究の目的】 移植腎における BK ウイルス腎症の重症度や、発症リスク因子としての
尿流うっ滞の関連を明らかにすること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎移植を受けた（慢性腎臓病）患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に診断目的に移植腎生検が行われた方

●利用する検体およびカルテ情報

利用する検体およびカルテ情報

検体：腎生検病理組織標本

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院病理診断科 担当医師 長嶋 洋治

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7358

平成 26 年 11 月 8 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「スタチンとエゼチミブ（商品名：ゼチーア®）併用による尿中アルブミン減少と腎機能障害抑制効果」

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科主任教授

【研究の目的】

エゼチミブ（商品名：ゼチーア®）内服が尿中へのアルブミン（蛋白の一種）の排泄量や腎機能の変化に影響を与えるか調べる

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2009 年より 2011 年までの間に、当施設においてゼチーア投与をされた中で、投与開始時 20 歳以上だった方。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴、検査結果（血液検査、尿検査、頸部超音波検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 宮部陽永

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 3 月 23 日

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 自己免疫・アレルギー・炎症性疾患におけるペリオスチン関与の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院リウマチ科および附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 川口鎮司・リウマチ科・臨床教授

[研究の目的]

全身性強皮症におけるペリオスチンの役割を解析し、新規の強皮症疾患マーカーとしての有用性を検討する

●対象となる患者さん

全身性強皮症の患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に全身性強皮症研究のため通常診療時の検査検体の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、病型、内臓病変の有無、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、呼吸機能検査）

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報には削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学病院リウマチ科および附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 川口鎮司

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1726

平成 27 年 2 月 2 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] アミオダロン内服治療に伴う甲状腺機能異常に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原誠久

[研究の目的]

アミオダロン内服治療に伴う甲状腺機能異常のリスク因子および甲状腺機能異常に対する治療効果を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

昭和 62 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に、アミオダロン内服治療を行った患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 2 月 20 日

日赤医療センター神経内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] アルツハイマー型認知症の健忘の自覚：生活健忘チェックリストでの検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経内科

[研究責任者] 北川 一夫 東京女子医科大学 神経内科 主任教授

[研究の目的]

アルツハイマー型認知症の臨床症状を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

アルツハイマー型認知症の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に脳血流シンチ検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、治療内容、既往歴、家族歴、身体所見、認知機能検査、画像検査、血液検査

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 北川 一夫

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7324

平成 27 年 3 月 15 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 冠動脈疾患（心臓を栄養する動脈の病気です）と冠血流予備量比（冠動脈の重症の度合いを評価する方法です）の相関に関する観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 主任教授 萩原誠久

【研究の目的】

冠動脈疾患患者（心臓を栄養する動脈の病気を有する患者さん）において冠動脈狭窄と冠血流予備量比の関係を明らかにすること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 2 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に、冠動脈造影と冠血量予備量比を行った患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 嵐弘之

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 3 月 25 日

眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 眼内手術等前後の眼圧および血圧変化に影響を与える因子の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院眼科

〔研究責任者〕 眼科 主任教授 飯田知弘

〔研究の目的〕

眼内手術前後の眼圧および全身血圧の変化に与える因子を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

白内障、網膜剥離、網膜静脈閉塞症、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、黄斑円孔、黄斑前膜、硝子体出血、ぶどう膜炎、緑内障など患者さんで、平成 24 年 4 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に緑内障手術を除く眼内手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見（血圧）、検査結果（視力、眼圧、眼底写真、光干渉断層計写真）、治療関連情報（既往歴、治療に用いた薬剤、転帰、合併症の有無）。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*ご不明な点は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院眼科 担当医師 丸子一朗

電話 03-3351-8111 FAX 03-5269-7343



新生児臨床研究ネットワーク (Neonatal Research Network)
早産児における左房容積および動脈管開存症評価 (PLASE Study) へのご理解とご協力について

未熟児動脈管開存症は早産児の重大な合併症で、死亡、重症頭蓋内出血、慢性肺疾患、壊死性腸炎などの発症の要因の1つと考えられています。

未熟児動脈管開存症の適切な管理は早産児の予後向上における重要な課題ですが、未だにどのような管理方法がよいかはわかっておりません。

現在新生児臨床研究ネットワークでは、在胎23週～29週で出生した早産児が後遺症少なくご退院するための循環管理基準を作成するために多施設共同研究事業を実施しています。通常の診療する範囲内で、血液検査や心臓超音波検査の結果、お子さまの状態を定期的に記録して、早産児の予後を向上するための研究に活用させていただきます。

これらの結果はすべて匿名化した上で解析しますので、個人情報流出の可能性はございません。 研究を実施するためには、できるだけ多くの記録が必要となりますので、多くの皆様のご理解とご協力をお願いしております。

なお、研究への参加を希望されないご家族の方は主治医にお話し下さい。ご協力いただけなくても、診断や治療、対処などにまったく影響はありませんのでご安心下さい。

データ収集・集計・管理

国立成育医療研究センター研究所臨床研究企画室内 PLASE Study データセンター
研究事務局

埼玉医科大学総合医療センター小児科内 PLASE Study 研究事務局

研究に関する詳細・お問い合わせ <http://nrrn.shiga-med.ac.jp/plase/index.html>

神奈川県立こども医療センター新生児科 豊島勝昭 (電話番号：045-711-2351)

平成 27 年 3 月 30 日

がん化学療法で通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] アプレピタント（イメンド®、プロイメンド®）および経口フッ化ピリミジン薬剤（ティーエスワン®、ゼローダ®）の併用がワルファリン服用患者に与える影響の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院薬剤部

[研究責任者] 木村 利美（薬剤部 薬剤部長）

[研究の目的]

特定のがん化学療法施行中の患者さんのワルファリンの飲み合わせを検証する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 26 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に経口フッ化ピリミジン薬剤（ティーエスワン®、ゼローダ®）の治療中に吐き気止めとしてアプレピタント（イメンド®、プロイメンド®）を使用し、かつワルファリンを併用中の方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、フッ化ピリミジン系薬剤の投与量・投与期間、アプレピタント（ホスアプレピタント）の使用量・投与期間、ワルファリンの投与量・投与期間、プロトロンビン時間（PT）および PT-INR、併用薬剤（ワルファリンの併用注意薬剤、肝機能（AST、ALT）、腎機能（血清クレアチニン値）、診断名（癌、ワルファリンの治療による疾患）、抗がん剤投与歴（投与歴・レジメン名称）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院薬剤部

担当薬剤師 深谷 寛

電話 03-3353-8111 内線 29932

平成 27 年 3 月 27 日

小児循環器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心房肺動脈連結フォンタン手術における右房拡大と右房壁肥厚を増悪させるリスクファクターに関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 循環器小児科

【研究責任者】 中西敏雄 循環器小児科 教授

【研究の目的】 心房肺動脈連結フォンタン手術症例における適切な TPC conversion（心外導管 による大静脈－肺動脈連結法への転換）時期を検討する。重篤な合併症（不整脈や心房内血栓）の危険因子を解明する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

過去に心房肺動脈連結フォンタン手術を受けた当院の患者様で、過去に心臓 MRI の検査を受けたことのある患者様を対象とし、心房のサイズや収縮力を評価します。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児循環器科 担当医師 椎名由美

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 3 月 31 日

循環器小児科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 Fontan 術後患者における TCPC conversion 適応基準についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学循環器小児科

〔研究責任者〕 教授 中西敏雄

〔研究の目的〕

フォンタン手術には、心房を肺動脈へ直接吻合する術式（APC 法）と、人工血管を使って肺動脈に導く術式（TCPC 法）があります。現在、フォンタン術後患者さんで APC 法から TCPC 法へ変更する手術（コンバージョン）が行われていますが、どのような患者さんでよりメリットが大きいか（どのような患者さんに手術の適応があるか）を検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

単心室（房室中隔欠損症、両大血管右室起始症のうちフォンタン手術に至った方も機能的単心室として対象に含まれます）のためフォンタン手術を受けた患者さんのうち、更にコンバージョン手術を受けた方で、2000 年 1 月 1 日から 2014 年 8 月 31 日の間に、心臓カテーテル検査を受けた方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、カテーテル検査結果、ペースメーカーの有無、同時に施行した手術（弁形成術や Maze 等）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 1-8

東京女子医科大学 循環器小児科

担当医師 中西敏雄、篠原徳子

電話 03-3353-8111

平成 27 年 3 月 31 日

循環器小児科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 一期的 Fontan 型手術と段階的 Fontan 型手術の比較

〔研究機関〕 東京女子医科大学循環器小児科

〔研究責任者〕 教授 中西敏雄

〔研究の目的〕

以前は一期的にフォンタン型手術を行っていましたが、現在はフォンタン手術に至る前に、グレン手術をおこなっています。上半身、下半身両方の血液を肺動脈へ流すフォンタン手術と異なり、上半身の血液だけを肺動脈へ流すグレン手術をはさむことにより安全に手術が出来る一方で、成人のグレン手術ではチアノーゼが強く出るなど生活に支障が出る患者さんがいらっしゃいます。以前、一期的フォンタン手術を行った患者さんのうち、どのような患者さんであれば、現在の段階的フォンタン手術と比べても安全に一期的フォンタン手術が行われたかを検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

単心室（房室中隔欠損症、両大血管右室起始症のうちフォンタン手術に至った方も機能的単心室として対象に含まれます）のため当院でフォンタン手術を受けた患者さん。

●利用するカルテ情報

生死、集中治療室滞在日数、術後ドレーン抜去時期、入院期間、カテーテル検査所見、血液検査所見（心不全マーカー、肝酵素）、6 分間歩行距離、

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 1-8

東京女子医科大学 循環器小児科

担当医師 中西敏雄、篠原徳子

電話 03-3353-8111

平成 27 年 3 月 31 日

循環器小児科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 Fontan 術後患者における心拍数と予後の関係

〔研究機関〕 東京女子医科大学循環器小児科

〔研究責任者〕 教授 中西敏雄

〔研究の目的〕

フォンタン術後患者さんの心拍数が、長期的な予後と関係しているか検討するため。心拍数が低い方が、将来より良い血行動態：血液めぐりであるかどうか、を検討するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

単心室（房室中隔欠損症、両大血管右室起始症のうちフォンタン手術に至った方も機能的単心室として対象に含まれます）のためフォンタン手術を受けた患者さんで、1996 年 1 月 1 日から 2014 年 8 月 31 日の間に、外来または入院中に 24 時間ホルター心電図を受けた方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、フォンタンの手術方式、基礎疾患（無脾症の合併の有無）、ホルター心電図後 1 年後以降のカテーテル検査の結果（心拍出量、中心静脈圧）、6 分間歩行距離、血液検査での心不全マーカー（BNP、カテコールアミン 3 分画、血漿レニン活性、アルドステロン）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 1-8

東京女子医科大学 循環器小児科

担当医師 中西敏雄、篠原徳子

電話 03-3353-8111